令和5年度 事業所における児童発達支援自己評価結果

公表：令和6年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育プログラム実施の際は空間を分けています。異年齢の児童と一緒に過ごすため、活動動線、遊具配置、職員配置等環境設定に工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		定められた基準に沿って人員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玄関の段差以外建物自体がバリアフリー構造となっています。机の高さ、トイレの環境等一人一人に合わせた環境設定を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		常に清潔且つ心地よく過ごすことができる空間作りに努めています。また、活動に合わせた玩具など準備、入れ替えを行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎月チーム会議を実施し、チーム全体で目標設定と振り返りをその都度行っています。誰もが閲覧できるよう記録ノートを作成しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		皆様の意見を真摯に受け止め業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ上で公開するとともに保護者会で皆様に配布し説明しました。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		相談支援専門員による外部評価とともに会議に参加していただき助言を受けています。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各関係機関による外部研修へ積極的に参加し、報告会を実施しています。ハラスメント、虐待防止に関する研修会や自然災害時の対応について内部研修を行いました。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		標準化されたアセスメントツールに当事業所独自の項目を加えたものを活用しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインは常に振り返り支援につなげています。発達支援5領域を総合した支援を基本としています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各種活動におけるリーダーを中心にチーム全体で協議しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に応じた行事を毎月取り入れています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		一人ひとりに合わせた計画の作成に努めています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼、昼礼にて前日の振り返りと当日の活動内容、流れ、職員配置、支援方法の統一を図っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の様子だけでなく、気付きや保護者、関係機関との連絡事項など細かく記し、支援につなげています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングの他、必要に応じて判断しています。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参加していますが、児童指導員も同行する機会を設けています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		基本的には保護者を経由しての情報共有ですが、相談支援専門員と連携を強化しています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	現在受け入れを行っていません。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		当事業所では保育所等訪問支援は行っておらず、保護者、相談支援専門員を通して情報共有をしています。今年度は就学に向けた支援の統一として支援会議を行っています。今後も積極的に連携を図っていきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所や専門機関との連携は積極的に行っています。研修にも参加し助言を受けています。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度からの新たな試みとして子ども食堂へ参加しました。 土曜日を中心に児童館を利用しています。長期休暇中は公共の施設を利用していきます。 共生社会の実現を目指す中でとても重要ですが、まだまだ難しいのが現状です。地域とのつながり強化、そして、放デイの横のつながりの幅を広げていきたいと考えています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		機会があれば参加したいと考えています。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、連絡帳、面談時に過ごしの様子や成長など細かく伝え、自宅や学校での様子を細かく確認させていただき、共通理解に努めています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	過ごしの中での関わりのコツやヒント等その都度伝え共有しているが、ペアレント・トレーニングといった具体的な支援は行えていません。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に丁寧に説明をしており、変更があればその都度お知らせをさせていただいています。ご希望時には迅速かつ丁寧に対応させていただきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」と示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインは常に振り返り支援につなげています。支援計画書に5領域のどこに該当するか記載し、説明させていただいています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		その都度ご相談に応じています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		令和6年2月26、27、28日に実施しました。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		活動や療育プログラムを企画する際その他、児童や保護者の意見を取り入れる場面が多々あります。ご相談にはその都度迅速かつ適切に対応するよう努めています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事を中心にホームページ上で発信させていただいています。また、長期休み等は事前に予定表を配布しています。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		利用契約時や必要に応じてその都度保護者同意をいただいています。 個人情報への意識は定期的に振り返りを行っています。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日々の過ごしの中でのスケジュールを可視化し、見通しが持てるよう配慮しています。保護者の方々にも予定表を配布しています。
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域に開かれた事業運営を目指し、今年度は子ども食堂への参加や地域ネットワーク会議への参加等から事業所の周知を図っています。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルは適宜見直し、周知する体制を整えています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、非常災害週間とし訓練を行っています。今年度は地震からの火災発生に対する訓練を行いました。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		利用契約時、モニタリング時に確認し、変更があった場合は薬剤情報提供書の提出をお願いしています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーや好き嫌い、偏食の状況も含め利用契約時を中心に丁寧に聞き取りを行い、必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしています。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		大きな事故につながらないように、また同じ場面とならないようヒヤリとした・ハッとした段階でその原因と背景を共有し対策を講じています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		令和4年3月、虐待防止委員会を立ち上げ、今年度は虐待の項目を全員で確認しフローチャートを作成しました。権利擁護の視点から事例に基づいて考える機会としています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在身体拘束が必要な児童はいませんが、今後やむを得ず必要となった場合は、事前に十分説明した上で終了時を視野に入れた対応をしていきます。